

スポーツ振興による地域づくり

資料3

NPO法人 出雲スポーツ振興21

NPO法人出雲スポーツ振興21の誕生

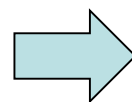
出雲市(広域合併前)は平成11年(1999) 出雲市総合スポーツ振興計画「出雲スポーツ振興プラン21」を①人づくり②環境づくり③システムづくりを3本柱に策定

プランを民間の立場で具現化する組織「NPO法人出雲スポーツ振興21」をスポーツ関係者を中心に立ち上げ

従来行政が行っていた出雲市総合スポレク祭など市民に直結したソフト事業や市体育協会はじめスポーツ振興団体の事務局業務及び行政・外郭団体が行っていた出雲健康公園(出雲ドーム)はじめ9施設の管理・運営を引き継ぎ平成12年(2000)4月より活動を開始

担当及び人員数

市(スポ振、都市計、福祉)、財団、社協
専属15名＋各課対応



一元化と人員削減と無休化
15名

■行政担当者のスタンス

- できるだけ早く自立して、市と両輪で出雲市のスポーツ振興を推進できる組織に！
- 仕組みは市が創った。これに魂を入れるのは貴方たち！

経営方針

◆理念:「スポーツ振興による地域づくり」

スポーツの日常化を図り、「元気な市民:心身ともに健康で活力ある市民」による地域活動活性化を推進し、「元気な地域:市民が暮らすことに幸福を感じ、愛着と誇りを持つ地域」づくりに貢献する。

◆ミッション:「スポーツライフの確立と進展」

- ①人が健康で豊かな人生を送るため、誕生から天寿を全うするまでの各世代におけるスポーツとのかかわりを創出・支援する。
- ②スポーツの間口の広さを活用し、福祉・教育・環境・経済・文化芸術等々多様な分野との連携を深め、スポーツの軸で結ぶ事業展開を図る。

※スポーツとは遊び、「楽しんでする心身の活動」

◆将来像:「法人活動(NPO)の公共的価値の創造」

スポーツのプラットフォームを確立し、地域づくりのプラットフォームに進化していく

理念
及び
ミッション
の
イメージ図

元気な地域(出雲市)

幸福 ⇒ 愛 ⇒ 誇り

元気な市民

心身ともに健康で活力ある市民

元気な市役所

元気な会社

元気な学校

元気な町内

元気な幼少年

元気な青壮年

元気な高齢者

スポーツの軸

総合型地域SC



出雲スポーツ振興21



体協・スポ少・スポ推進委

娯楽

文化芸術

農林漁業

教育
子育て

福祉

商工業

観光

環境

etc

誕生



天寿



0～3

4～8

9～12

13～22

23～39

40～64

65～

親子ふれあい

運動遊び
仲間づくり

多種目経験

競技
レクリエーション

競技・家族・
レクリエーション

レクリエーション
メタボ対策

レクリエーション・仲間づくり
健康増進・介護予防

出雲スポーツ振興21 基本概要 (H31年3月現在)

■ 業務内容

(1) 公共施設の管理運営と有効活用

県立1施設、市立8施設の指定管理者

(2) スポーツ団体等の事務局業務

体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会等11事務局

(3) 市、スポーツ振興団体及び市民が行うスポーツ・文化活動への支援・協力

介護予防、健康増進、子供の体力向上、障がい者支援、スポーツイベント等

(4)) 自主事業としてのスポーツ振興策の実施

スポーツ振興団体等活動支援、PPKプロジェクト ネットワーク推進、緑化推進
ノーマライゼーション推進、スポーツ教室開催、いずもスポーツツーリズム推進、
総合型地域スポーツクラブ設立・育成、スポーツ文化イベント誘致 等

(5) 上記1～4にかかわるサービスの提供として収益事業の実施

収益事業の利益はスポーツ振興事業等へ再投資する

■ 財務(補助金0)

H30年度決算額: 4億5,820万円

H31年度予算額: 4億5,840万円

■ スタッフ

53名 (正職20、再雇用2、臨時12、嘱託1、パート18)

(60歳未満 女性11・男性18、60歳以上 女性2・男性22名)

■ 緑化推進(校庭等芝生化)

○子どもの代わりに芝生が傷つく



活動の活発化

○維持管理は地元組織



地域で子供を育てるきっかけづくり

(1大学・5小学校・4幼稚園・3保育園・河川敷)



■ 法人直営クラブ:H17年度・29年度比較

○会員数 : 3.3倍↑ ○会費収入 : 8.4倍↑

○年間開催数 : 5倍↑ ○プログラム数 : 2.5倍↑

○会場使用料 : 5.2倍↑ ○講師等謝金 : 4.7倍↑



○働く世代のスポーツ参加率向上⇒商工会議所・健保組合・保健所との連携

○出雲市は女性の出産率・就業率が全国比高い⇒親子活動のアプローチ強化

■ 古代出雲歴史探訪 ミステリーウォーク

出雲市文化財課と共催。

出雲にある古墳等遺跡を、学芸員の説明を聞きながらウォーキングで巡る、市民対象「頭と体」の故郷再発見事業。

(平成18年度～25年度)



■ 縁結びライドin出雲

出雲市(観光・スポーツ)、観光協会、産業NPO、サイクリング協会、日本旅行JR出雲市駅等と協働。全国対象のスポーツツーリズム事業。(H28年度～)

○運営スタッフ:119名

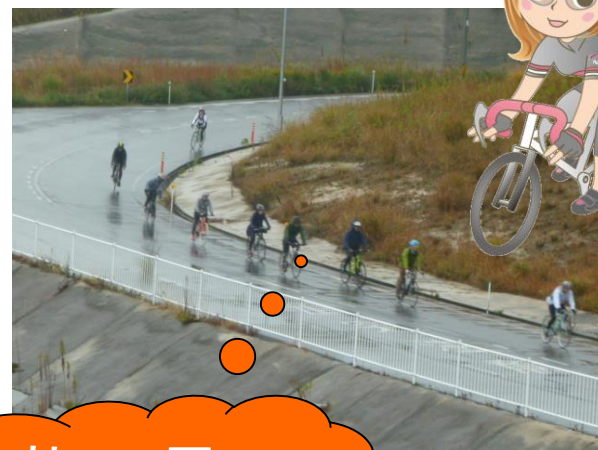
実行委員会+3団体3企業+地元サイクリスト

○関係団体:11企業、3公共施設、8民間施設

○ステーション設置(ウォーク・ラン・バイク)

○連携分野の拡大

○日常化、そして文化へ



神々の國で
縁を結ぶ

■ PPKプロジェクト(足腰元気会)

一社)元気づくり大学が普及・提唱するシステム導入
三重県いなべ市：国保で1人約7万8千円／年 削減
出雲市高齢者の10%参加で3億8千5百万円削減
スポーツに投資をすれば行政＝住民負担が軽減
高齢者が元気になると医療費削減よりも……



元気な高齢者の社会活動参加

見守り、防災・減災、防犯、子育て支援、地域環境保護、イベント支援など
知恵・知識・経験を活かす地域課題解決の力に期待



■ 各種団体等への参画例

○出雲市スポーツ振興審議会委員

○出雲市地域福祉計画推進委員

○島根県水防協議会委員

○出雲保健所健康長寿推進会議委員

○内閣府 地域活性化伝道師

○出雲市健康のまちづくり推進会議委員

○出雲市社会福祉協議会監事

○県立古代出雲歴史博物館協議会委員

○出雲商工会議所会員

「地域づくり」の基本は地域が元気になること

～市民が元気になり、元気な人とひとが繋がっていけば、地域が元気になる～

■スポーツ振興のとらえ方

○活動を開始したころは**スポーツ**の振興が目的



地域の人・組織・活動や全国の先達との関わりで

○スポーツは有効な手段、**スポーツ振興による**地域づくりが目的

スポーツ振興策の実施、事務局業務を通じた体育協会等スポーツ団体への協力、市民活動への支援、スポーツ施設の管理・運営等それぞれが目的ではなく、**その先**に目指すものがある。それをひとくりに「地域づくり」と捉える。

スポーツを軸とした活動をとおしてどんな地域貢献をするのか

地域の特性と現状を知る⇒WILL・CAN・MAST⇒地域課題の解決へ

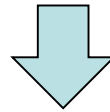
■組織活動にとって必要なこと

○**自立と連携**⇔依存と孤立

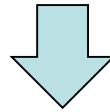
○組織の理念・目的を常に確認、軸をぶらすな！

おおらかに、楽しく活動し、**地域にとって必要な存在**になること

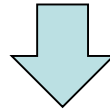
スポーツを軸とし、多分野連携を積み重ね、
地域づくりのプラットフォームを創出する



出雲版まちづくり推進組織への進展



新たな地域社会の仕組みを創造



水平でゆるやかなネットワーキングの構築

日本遺産：日が沈む聖地出雲

～神が創り出した地の
夕日を巡る～



ご連絡ください
地元ならではのおもてなし
をご提供します

